



# 2022年度 GBJ活動紹介

(第10回)

# もくじ

---



- 2022年活動報告 会員数全体概要
- ワーキンググループ活動報告・方針（セミナー・WELL・コンテンツ・LEEDテクニカル）
- GBJシンポジウム 活動報告・方針
- 学生ユース 活動活動報告・方針
- リレーションシップマネジメントTF 活動報告・方針
- GBJ役員改選

# 2022年活動報告 会員数



## ■ 会員数の変化

2022年1月 > 2022年12月

• 法人会員 : 74 > 79

- 直近1年での加入法人 (敬称略)  
住友林業、ライヴス、フロンティアコンストラクション & パートナーズ、マクニカ、日東電工、山下PMC、ケベック州政府在日事務所、USGBC、IWBI、高島屋スペースクリエイツ

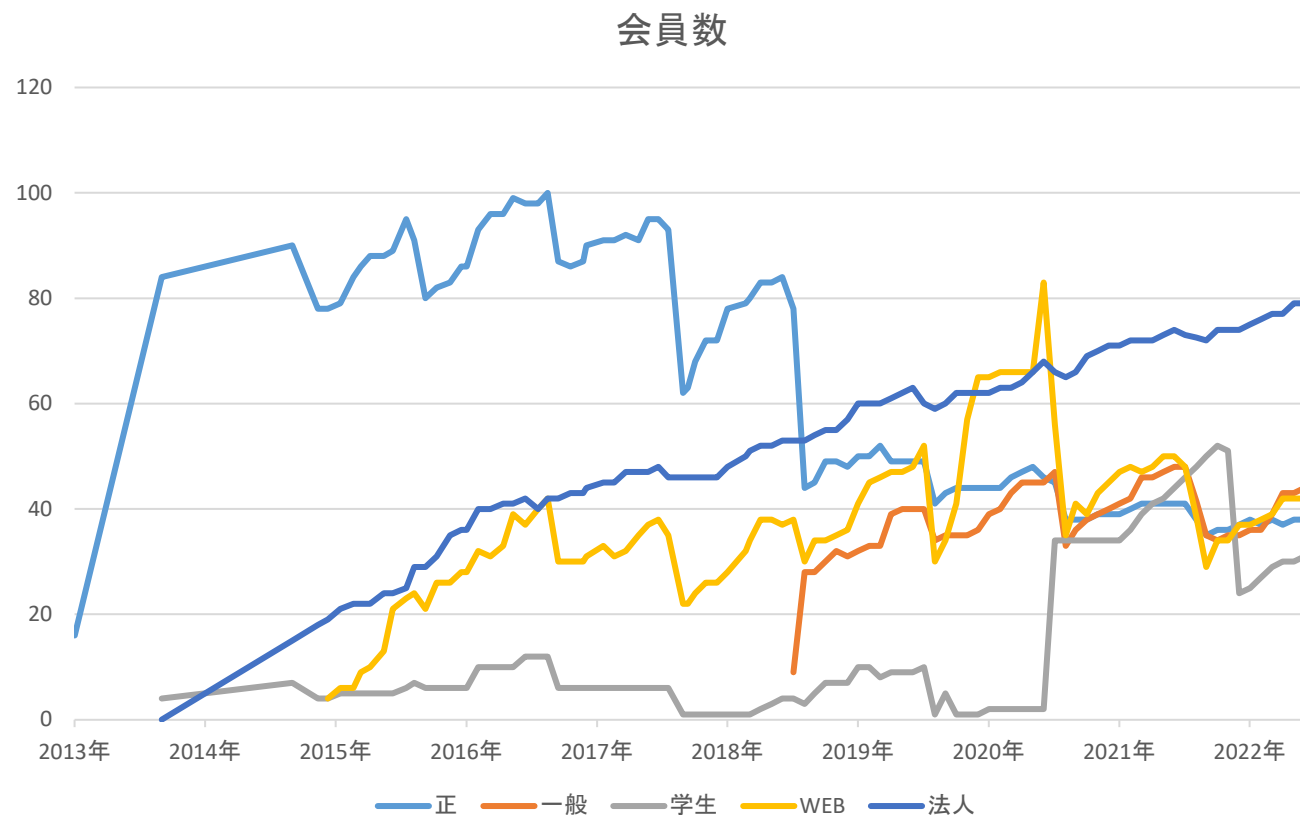
• 正会員 : 41 > 38

• 一般会員 : 48 > 44

• 学生会員 : 44 > 31

• Web会員 : 50 > 42

• メルマガ読者 : 2881 > 2933





# ワーキンググループ活動内容

(セミナー・WELL・コンテンツ・LEEDテクニカル)

# 2022年活動報告 セミナーWG



2022年は以下のセミナーを開催しました。コロナ禍の影響を受け、今年はすべてオンラインで実施をしました。運営については、アウトソーシングを行い、継続的な活動ができるよう体制づくりを構築しました。

開催日	テーマ	備考
1月20日	自治体のサステナビリティ最新動向	
4月13日	英語の壁を乗り越えろ！ あなたも合格LEED試験対策講座	初心者コミュニティ主催
6月20日	東京都がめざす2030年のグリーンビルの姿 ～特に新築建物に係る条例強化の方向性について	
8月9日	ランドスケープ評価認証制度SITESの紹介・事例・展望	
10月4日	大和ハウスグループみらい価値共創センター見学会	@奈良



# 2023年活動方針 セミナーWG

---

## 【活動方針】(2022年継続)

GBJ所属会員にとって、役に立つセミナーを実施

- ・ 最新情報、事例などを各専門家から解説/紹介や意見交換

## 【取り組みたいテーマ】

1. 他ワーキンググループとの積極的な連携

- ・ ワーキンググループのアウトプット内容をベースとしたセミナー開催

2. 事例のオンライン見学会

- ・ LIVEもしくは事前収録(デベロッパー、商業施設)

3. ワーキンググループの生産性向上

- ・ 特定メンバーに偏らないワーキンググループの運営

# 2022年活動報告 WELL WG



## 【会員間での知見の共有】

- ・ WELL 新v2、WELL Community、WELL at scaleの勉強会
- ・ WELL Summit参加報告
- ・ マクニカ社「AiryQonnect（エアリーコネクト）」の紹介
- ・ WELL認証取得プロジェクト見学会の実施（横浜グランゲート）

## 【WELLにおける優位性の確保】

- ・ WELL Homes Advisoryへの参加

## 【情報発信】

- ・ GBJ WELL HPの更新
- ・ IWBI 記事の抄訳
- ・ 新規情報のシェア（四半期毎の改定、WELL APおよび案件数の動向）

## 【広報活動・他団体への支援】

- ・ 日本建材・住宅設備産業協会 国際交流部会へのWELL認証の説明

## 【その他】

- ・ 「License and Service Agreement」の更新

# 2023年活動方針 WELL WG



## 【会員間での知見の共有】

- ・ WELLに関連する文献・書籍等の輪読
- ・ WELL Performance Rating、WELL Equity Ratingの勉強会
- ・ 会議参加報告、WELL関連機器メーカーからの情報提供
- ・ WELL認証取得プロジェクト見学会の実施
- ・ AAP/IEPの提案

## 【WELLにおける優位性の確保】

- ・ WELL Homes Advisoryへの参加

## 【情報発信】

- ・ WELLプロジェクト数の推移
- ・ GBJ WELL HPの更新
- ・ IWBI 記事の抄訳
- ・ 新規情報のシェア（四半期毎の改定、WELL APおよび案件数の動向）

## 【広報活動・他団体への支援】

- ・ 他団体へのWELL認証の説明および意見交換の実施
- ・ 新v2日本語翻訳監修





- GBJブックレットの改訂
- GBJウェブサイトの改修
  - 過去セミナー動画の公開対応
  - LEEDNDの説明文の推敲
  - WELLプロジェクトのHP掲載対応-事業者折衝
- USGBC記事を、抄訳付き紹介でメールマガジンで毎月発行

# 2023年活動方針 コンテンツ WG

---



- USGBCの抄訳付き紹介をメールマガジンで毎月発行
- GBJウェブページの改造



## ACP

- LEEDv4.1 BD+Cより検討課題抽出、調査、検討（特に「低発散材料」について取組み）（WG11回開催）
- 米国試験を経てBD+C v4 WEp 要件に適合した日本メーカー2社の冷却塔エリミネーターを、各社およびGBJホームページにて同時プレスリリース

## 勉強会

- LEEDv4.1のエネルギーモデリングに関して、ASHRAE 90.1-2016 必須規定の勉強会（3回）を開催、予定終了により一旦活動休止

# 2023年活動方針 LEEDテクニカルWG

---



## ACP

- LEED v4.1 BD+Cの要件から日本でLEED認証取得の障壁となりうる課題を抽出し、解決策立案に取り組む  
（「低発散材料」の取組み継続、MRカテゴリー内の評価項目など）
- 情報交換の場の提供



# GBJシンポジウム 概要

# 2022年活動報告 GBJシンポジウム



- サステナビリティという概念とともに「建物を使うユーザー一人ひとりの生活の質」から「建物が集まって形成されるコミュニティ・社会のあり方」まで、グリーンビルディング（以下GB）が射程とする範囲はきわめて広くなり、その拡大は日々続いている。世界中が環境問題に取り組む中、日本国内においてGBの拡充の役目を担う団体として“いま”必要とされる情報の発信を目指した。
- GBのさらなる価値向上と、今と未来の社会課題の解決に向けて、今年のシンポジウムのテーマを「**みんなで育てるグリーンビルディング市場**」とした。
- GBの基本情報を発信するとともにその**裾野をさらに拡大**するため、**多角的な視点**と異なる切り口を持つ様々な分野の専門家から、GBを取り巻く国内での最新動向や推進する取組みについて発表頂いた。
- オンライン開催での集客力強化のため、会員への告知に加えメディアによるプレスリリース、SNSを通じた発信などを行い戦略的集客にも取り組んだ。

**日時/場所：2022年11月25日（金）13:00-17:00オンライン開催**

**主 題：みんなで育てるグリーンビルディング市場**

**主 催：GBJ, USGBC**

**協 賛：大和ハウス工業株式会社, Eminence Partners合同会社**

**参 加 費：[無料]（事前登録）**

**参 加 数：294名（当日分のみ、前年比2.1倍）**

**シンポジウムの録画動画WEB無料公開**

# 2022年活動報告 GBJシンポジウム



## 1) 基調講演

### 「カーボンニュートラルに向かう世界の最新動向」

高村 ゆかり氏 東京大学未来ビジョン研究センター 教授



## 2～4) 2チャンネル同時進行 (※次頁詳細)

## 5) パネルディスカッション

### 「既存ビルとグリーンビルディングのこれから～ビジネス、設計者の視点～」

馬場 正尊氏 建築家 Open A Ltd.代表取締役 東京R不動産ディレクター 東北芸術工科大学教

似内 志朗氏 公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会

斎藤 敦子氏 コクヨ株式会社

田中 徹氏 株式会社ヴォンエルフ

吉田 賀織氏 株式会社ビルmo



※視聴者数では、高村先生のセッションが267名（馬場先生197名）と最も多かったが、関心では馬場先生のセッションの既存ビルに関するものが最も多い。（アンケート結果より）

⇒裾野を広げる、新たな市場、既存ビル等のキーワードにより多角的な視点での取組みを発信する今回の狙いに沿った結果

# 2022年活動報告 GBJシンポジウム



## 2) a. スポンサーセッション

「大和ハウスグループ 未来価値共創センターにおける LEED、WELL、SITESの活用」

橋本 雅氏 大和ハウス工業株式会社 村松 紗智氏 大和ハウス工業株式会社

## b. GBJセッション

「GBJグリーンビルディング超入門2022」

幸田 淳貴氏 三菱地所プロパティマネジメント株式会社

## 3) a. 外部セッション 「大阪大学の取組：国内初大学キャンパスでのLEED-ND取得」

池内 祥見氏 大阪大学 サステイナブルキャンパスオフィス キャンパスデザイン部門

## b. GBJセッション 「大成札幌ビルにおけるZEB化リニューアルとエネルギーサポート」

村上 正吾氏 大成建設株式会社

## 4) a. スポンサーセッション

「機関投資家の視点から見た既存建物に対するArc利用のメリット」

辻 早人氏 株式会社日本政策投資銀行 木下 泰氏 Eminence Partners合同会社

## b. GBJセッション 「Gグリーンワークプレイス ～学生の求める働く環境とその最先端～」

藤間 朋久氏 東京大学 塚原 彩氏 東京都立大学大学院





# 2023年活動方針 GBJシンポジウム



## 2023年シンポジウム計画について

**日時/場所** : 2023年秋（今後詳細決定）

**開催方法** : リアル/オンラインを含め検討予定

**主催** : GBJ

**共催** : USGBC、GBCI（予定）

**スポンサー** : 募集予定

**テーマ** : 3月中に素案、4月にUSGBC/GBCIと協議し確定

**参加費** : 無料（事前登録）

### 【まとめ】

2022年度シンポジウムでは、テーマに沿った環境・新築・既存・ESGなど多角的な視点での先進的な情報発信を実現した。その結果、様々な分野からの参加者が増加し、集客力の向上に繋がったと推察される。

そして、2023年はGBJ設立10周年という節目の年であり、内容・集客・規模ともに昨年を上回る充実した発信を目指し更なるムーブメントを起こす機会と捉えて団体一丸となって取り組んでいきたい。



# 学生ユース 活動内容

# 2022年活動報告 学生ユース



LINEグループ参加メンバー 25名（高校生6名、大学生19名）

おもな活動内容: グリーンビルの学習やイベントの開催等

- インタビューシリーズ「SDGsとグリーンビルの仕事」（4月、6月）

2022年には、国土交通省不動産・建設経済局の塚田様、東京大学大学院農学生命科学研究科の井上先生にインタビューを実施し、その様子をYouTubeで公開。

- GBJ YOUTH SUMMER PROGRAM（8月）

8月3日～5日の3日間にかけて、グリーンビルディングに関する講演やワークショップを高校生・大学生向けにハイブリッドで開催。GBJ法人会員企業などから9社12名の講師にご協力いただいた。

- GBJシンポジウム2022への参加（11月）

GBJシンポジウムの学生セッションにおいて「グリーンワークプレイス」をテーマに発表。

- コンテンツWG インタビュー（11月）

三菱地所設計様へのインタビューをコンテンツWGと共同で実施。公開用のビデオを作成中。

- Arc School 学生プロジェクト（通年）

GBJ学生ユースのメンバー所属校でArcを活用した学校のサステナビリティ評価プロジェクトを実施。

# 2023年活動方針 学生ユース

---



- ◆ GBJ運営委員会・WGへのオブザーバー参加・プロジェクト協力  
(GBJやグリーンビルについての理解向上、コンテンツの提案 など)
- ◆ 対面イベントの開催  
(グリーンビル見学会 など)
- ◆ Arc School 学生プロジェクトの展開  
(過去のプロジェクトのフィードバック・新規プロジェクトの実施・GBJ負担による学生向けProfessional Account取得など)
- ◆ GBJ Summer Program 第二弾の開催  
(高校生・大学生がグリーンビル業界を深く知るイベントを企画・運営)
- ◆ GBJ主催シンポジウムへの参加  
(ユース目線の情報発信)
- ◆ SNS, ウェブサイトでの広報活動  
(メンバー・GBJ学生会員の獲得、ウェブサイトの充実 など)



# リレーションシップマネジメントTF

# 2022年活動報告 リレーションシップマネジメントTF



- USGBC、IWBIに対して互恵的にGBJ法人会員ステータス（プラチナ・ゴールド）の提供をサポート。
- USGBCとの再契約にあたって要請されたLinkedInでの英語による日本のLEED関連情報の発信作業を活性化。これによりLinkedInのGBJページがフォロワー数が11月17日現在で314と前年同期比2倍となる。
- WorldGBCのアジア太平洋アワードのWGにRMTFよりメンバーが参加。
- Philippine Green Building Council主催のBuilding Green Conference（9月8－30日）にてAPACのGBC紹介セッションにてGBJのビデオプレゼンテーション実施とパネルディスカッションへ参加。
- SEB22深圳の協賛スポンサーとなる。クロージングセレモニー用にGBJのビデオプレゼンテーションを提供したが、COVID-19の大流行によりSEB22開催が一旦延期中。
- WorldGBCから紹介を受けた、日本のグリーンビルディング市場に興味のある外資系企業数社への情報提供対応ならびにRegional GBC（ベトナム、シンガポール）に対する日本の環境施策の説明。
- 複数の国内メディア（読売新聞社、テレビ東京）の問い合わせ・取材対応。
- JICAからのエジプト国デレゲーションに対する日本のLEEDの展開状況のプレゼンテーションの実施。

# 2023年活動方針 リレーションシップマネジメントTF



## 1. 国内関係各所（産官学民）と積極的に関係を構築

- 業界団体：各WGと協働し建産協等の業界団体との関係の深掘りを通じGBJの認知度を高める
- 金融機関：金融関係業界との関係構築・法人会員入会促進によりESG投資に関する活動を強化する
- 教育機関：次世代との共創を目指し、GBJ学生ユース、学生オピニオン・チャレンジとの共働によって教育機関との関係強化を図る

## 2. USGBC、IWBIとの関係深耕のサポート

- 理事会を中心としたUSGBC、IWBIとのリレーションシップをより深化させるためRMTFメンバーの両団体とのリレーションシップを活用し、コミュニケーション量を増加させる

## 3. WorldGBC、GRESBにおける活動参加の継続

- WorldGBC経由で既に取り組んでいるRegional GBCとの連携を深化させる

## 4. GBJ情報、日本のグリーンビルディングに関する情報の英語による発信の強化

- WorldGBCの活動を通じ、多くの東南アジア諸国が日本におけるグリーンビルディング、サステナビリティの取組に強い関心を持っていることがわかったが、現時点でのGBJによる英語での情報発信は限定的
- そこで、LinkedIn等での情報発信、日本におけるグリーンビルディング普及活動についての英文資料作成等に取り組む。その際にはDeepLなどのAI翻訳なども十分に活用し、効率化を図る

## 5. マスメディア、事業法人等の問い合わせに関して理事会のサポートを実施

- ESGに関する社会的認識の高まりに伴い、テレビ、雑誌、新聞等のマスメディアの問い合わせのみならず、事業法人からもグリーンビルディングについて問い合わせが増えている中、理事会を中心とした対応へのサポートを提供し、法人会員拡大に努める